

『高温超伝導発見 40 周年記念研究会』

1986年の高温超伝導の発見から、2026年で40周年を迎えます。その後、多彩な高温超伝導物質が次々と見いだされ、研究は大きく発展してきました。その歩みは、新物質の探索にとどまらず、高温超伝導の発現機構やその背後にある物理の理解を大きく深化させてきました。さらに、線材、デバイス、高磁場マグネットなど、応用技術も着実な進展を遂げています。本研究会では、物質、物理、応用という幅広い視点から、高温超伝導研究の40年の歩みと現在地を振り返ります。多くの皆様のご参加をお待ちしております。



■ 共同開催：応用物理学会 超伝導分科会・低温工学・超電導学会 材料研究会

■ 日時：2026 年 11 月 13 日(金) 13:00 ～ 17:00

■ 会場：日本大学理工学部駿河台キャンパス，タワースコラ S504室

<https://www.cst.nihon-u.ac.jp/>
 アクセス・地図：<https://www.cst.nihon-u.ac.jp/campus/surugadai/>

プログラム（講演タイトルは仮題を含む）		
13:00～13:05	開会挨拶	超伝導分科会幹事長
13:05～13:35	高温超伝導の原点を振り返る – $(\text{La,Sr})_2\text{CuO}_4$ から見た40年	永崎 洋 (産総研)
13:35～14:05	多彩な高温超伝導体の顔ぶれとそれらの歩み	下山 淳一 (青山学院大)
14:05～14:35	高温超伝導体の接合の物理（仮題）	田仲 由喜夫 (名古屋大)
14:35～15:05	高温超伝導ボルテックスの運動学の謎	前田 京剛 (東京大)
15:05～15:20 休憩		
15:20～15:50	異方的弱結合を乗り越えた 2 軸配向超伝導線材	飯島 康裕 (フジクラ)
15:50～16:20	高温超電導接合と SQUID; 物理からビジネスへ	田邊 圭一 (SUSTEC)
16:20～16:50	発見から 40 年 高温超伝導応用はどこまで進んだか – 強磁場応用を中心として	淡路 智 (東北大)
16:50～16:55	閉会挨拶	材料研究会委員長

参加費（当日受付，消費税込，資料代込み）：超伝導分科会会員 2,000 円，応用物理学会および協賛団体会員 3,000 円，非会員 4,000 円，学生 1,000 円

申し込み方法：(1)所属，(2)氏名，(3)連絡先(TEL, E-mail)，(4)会員種別を明記の上，11 月 9 日（月）までに超伝導分科会 HP 内<<https://annex.jsap.or.jp/support/division/super/>>の研究会参加申込フォーム（上記 QR コードからも可）からお申し込み下さい。席に余裕がある場合は当日参加も受け付けますが，資料等の準備がありますのでなるべく期日までにお申し込み下さい。

オーガナイザー・問合せ先：超伝導分科会：土井 俊哉（京都大） doi@energy.kyoto-u.ac.jp

藤井 剛（産総研） go-fujii@aist.go.jp

飯田 和昌（日本大） iida.kazumasa@nihon-u.ac.jp

材料研究会: 土井 俊哉 (京都大)

藤田 真司 (フジクラ) shinji.fujita@jp.fujikura.com

飯田 和昌 (日本大)